

さんこう



発行：錦江町議会
編集：議会報編集委員会
〒893-2392
鹿児島県肝属郡錦江町城元 963番地
☎(0994) 22-3045 (直通)

感動をありがとう!



デモンストラーションスポーツ
真向法体操

KAGSAG
SAGA 2024

大会

式次第

Pick UP

令和4年度 各会計歳入歳出決算を認定

Topics ..

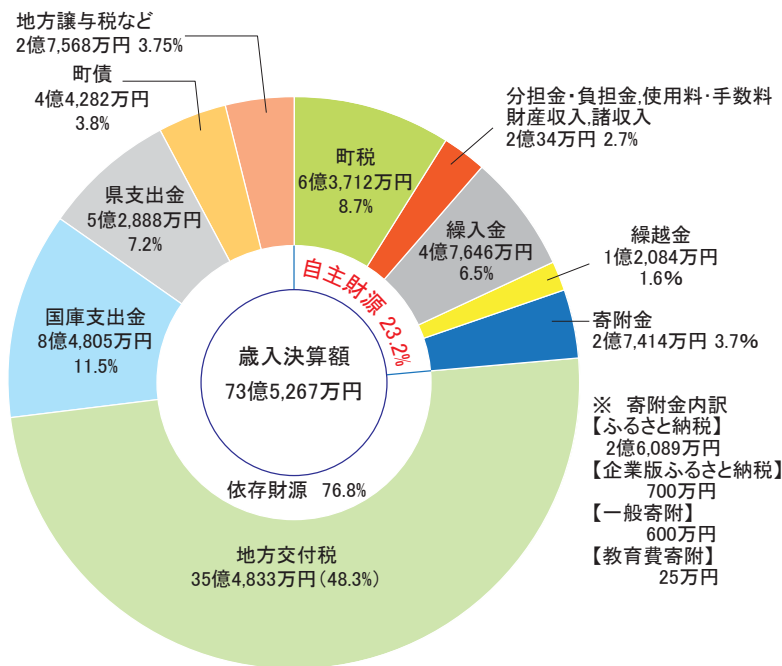
令和4年度決算審査	2 ~ 3	ページ
7月臨時会・9月定例会	4 ~ 7	ページ
一般質問	8 ~ 15	ページ

令和4年度
**決算
認定**

の展開は？ - 令和4年度決算審査 -

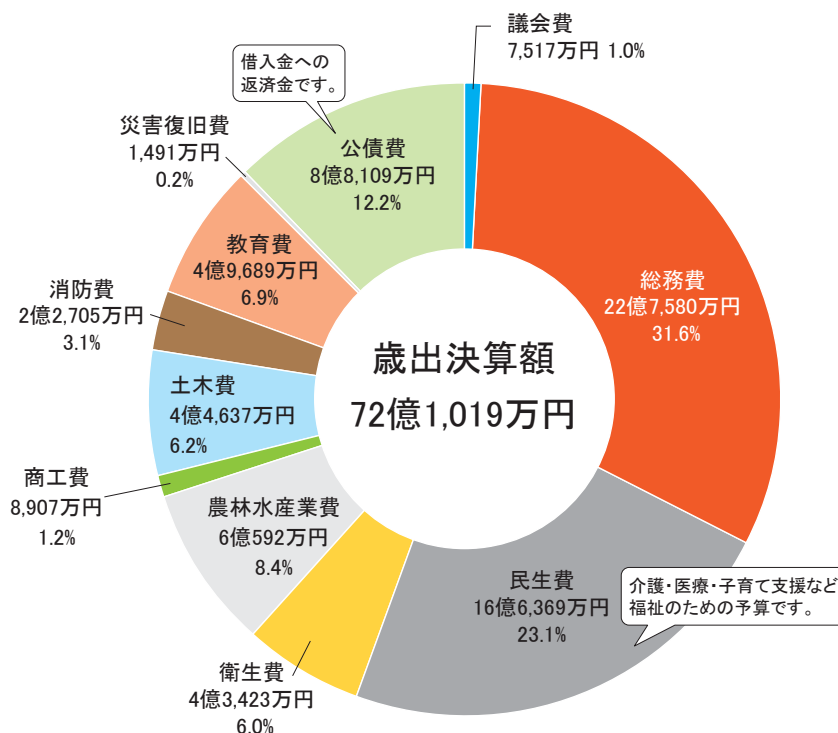
一般会計 歳入 73億5,267万円 歳出 72億1,019万円

一般会計 歳入決算状況



9月5日、決算審査特別委員会を設置し、9月8日、11日、12日、13日の4日間で全課を対象に一般会計と6特別会計の併せて7会計の令和4年度歳入歳出決算について審査を行い、すべて認定しました。
 さまざまな質疑がありましたが、要約してお伝えします。

一般会計 歳出決算状況



【自主財源】

町が自主的に調達できる財源。固定資産税、町民税、手数料、寄附金など。

【依存財源】

国や県からの交付またはその意思決定による財源。地方交付税、国県補助金、町債など。

決算の内容を詳しく知りたい方は、町ホームページ「監査等の結果について」から「決算及び資金運用状況審査意見書」（令和5年度実施分）をご覧ください。監査委員事務局へお問い合わせください。

【電話番号】 0994(22)-3045

【URL】

<http://www.town.kinko.lg.jp/kansa-h/chose/kansa/kekka/kekka.html>



【二次元コード】

徹底審議！事業の効果は？今後

特別会計 歳入 29 億 2,273 万円 歳出 28 億 3,253 万円

会計名	歳入総額	歳出総額	差引額	歳出の前年度比	
国民健康保険事業	13 億 1,275 万円	12 億 5,230 万円	6,045 万円	0.6%減	
後期高齢者医療事業	1 億 3,853 万円	1 億 3,779 万円	74 万円	5.5%増	
介護保険事業	保険事業勘定	12 億 8,699 万円	12 億 5,521 万円	3,178 万円	1.7%減
	サービス事業勘定	696 万円	686 万円	10 万円	38.8%減
簡易水道事業	1 億 2,418 万円	1 億 2,343 万円	75 万円	3.0%増	
農業集落排水事業	5,332 万円	5,695 万円	△ 363 万円	27.3%減	

全 137 回の質疑応答からピックアップ

農福連携、事業内容は

議員 農福連携導入支援事業について、視察を行っているようだがどのような事業内容を考えているのか。

執行部 介護福祉課など関係部署と連携を取り、農業の人手不足解消となるような取り組みをしたい。

水資源確保事業、経緯・今後は

議員 水資源確保事業について、山林購入の経緯は何か。また、今後も購入予定はあるのか。

執行部 水道の水源を森林の乱伐や海外資本などから守るために購入した。今後も町水道の水源地等を購入していきたいと考えている。

産後ケア事業、事業実績は

議員 産後ケア事業の利用実績はどうか。併せて、小児科オンラインの利用状況はどうか。

執行部 訪問型1名、宿泊型1名、日帰り型2名の計4名の利用である。小児科オンラインは、延べ100人程度の利用があり、育児相談が主なものである。

馬場海岸事業、いつまで

議員 馬場海岸の工事はいつ頃終わるのか。

執行部 全体計画が60mであり、令和4年度が2工区（20m、15m）発注であるので、当分の間はかかるかと考える。

アントレプレナーシップ、

議員 アントレプレナーシップ教育事業について、この事業に参加した子どもたちに参加の前後でなにか変化が見られたか。

執行部 参加前はアイデアを出すことは「難しい」と感じている生徒が多かったが、参加後は「それほど難しいことではない」と感じるようになっていた。

自主財源、今後の見通しは

議員 5年、10年先の経済規模、自主財源の見通しについてどのように考えるか。

執行部 本町が60億程度の財政規模で推移するものと仮定するならば、交付税充当率の大きい起債を活用していけば安定したものであると考える。

補正予算

一般会計補正予算（第6号）を原案のとおり可決しました。主なものは次の通りです。

医師会立病院再整備事業

190万円（2,737万2千円）

- ①国道拡幅検討のための追加測量及び設計
- ②排水計画のための追加測量及び設計等の追加業務が必要となったため

老人福祉センター解体事業

27万8千円（4,607万8千円）

解体工事前のアスベスト事前調査費用が不足したため

中学校教育振興費

10万円（381万円）

部活動4種目の県大会出場が決定し、不足が生じたため

令和5年第3回臨時会を7月10日に行い、補正予算1件、陳情審査、意見書の審議2件を行いました。

※（ ）内は予算総額です。

あなたの陳情を審査

ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2024年度政府予算に係る意見書採択の陳情

内容

- 1 中学校・高等学校での35人学級を早急に実施すること。また、さらなる少人数学校について検討すること。
- 2 学校の働き方改革・長時間労働是正を実現するため、加配教員の増員や少数職種への配置増など教職員定数改善を推進すること。
- 3 自治体で国の標準を下回る「学級編制基準の弾力的運用」の実施ができるよう加配の削減は行わないこと。
- 4 複式学級を解消すること。
- 5 特別支援学級籍の子どもを交流学級でも在籍児童生徒数としてカウントすること

一部採択し、内閣総理大臣等に意見書提出

理由

子どもたち1人1人に行き届いた教育を保障するためには少人数学級の実現が必要であり、また、教職員の長時間労働是正の働き方改革を行う上でも、加配教員の増など教職員定数の改善も必要であり、当陳情は理解できないものの4、5項目については本町の現状に合わないため結果を出すまでには至らなかった。よって1、2、3項目については採択した。

義務教育費国庫負担制度負担率の引き上げをはかるための、2024年度政府予算に係る意見書採択の陳情

内容

教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、地方財政を確保した上で義務教育費国庫負担制度の負担割合を引き上げること。

採択し、内閣総理大臣等に意見書提出

理由

子どもたちの豊かな学びの実現のためには、自治体間の教育格差が生じることがないよう、国が財源保障し、教育の機会均等と水準向上をはかることが必要であり、本陳情の趣旨・内容については理解できるものである。



9月定例会

令和5年第3回定例会は9月5日から27日までの23日間の会期で開催しました。
 本定例会では、契約1件、諮問2件、補正予算8件、その他1件の他、決算認定7件を審議しました。
 また、7名の議員が一般質問を行いました。

諮問

人権擁護委員候補者を推薦しました

人権擁護委員は町長が議会の意見を聞いて、法務大臣に推薦します。次の2名を推薦することに賛成しました。

任期は令和6年1月1日から令和8年12月31日までです。

・今村 紀子 氏

【鳥浜自治会】

・安田 憲次 氏

【昇陽自治会】



契約

消防用本部指揮車の購入契約を締結しました

・契約の方法

指名競争入札

・契約の相手方

鹿児島市松原町12番32号

鹿児島森田ポンプ株式会社

代表取締役 尾曲昭二

・契約金額

756万8千円



その他

鹿児島県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の名称の変更及び同組合規約の変更

同組合を組織する地方公共団体の「伊佐北始良環境管理組合」が「伊佐湧水環境管理組合」に名称を変更したことに伴うものです。



請願・陳情の仕方

町政等についての要望等を請願書や陳情書としてどなたでも町議会に提出することができます。

〈陳情書の様式〉

〇年〇月〇日

錦江町議会
議長 〇〇〇〇 様

(陳情者) 住所
氏名
電話番号

(件名) 〇〇〇〇についての陳情書
(趣旨)

〈作成について〉

- ・左記は、陳情書の様式になります。
- ・請願書については、紹介議員の署名、又は記名押印が必要です。その場合には「〔件名〕〇〇〇〇についての陳情書」の部分の請願書として作成してください。
- ・陳情者の住所、氏名は必須です。
- ・法人の場合は所在地、その名称及び代表者の氏名を署名又は記名し押印してください。
- ・陳情者が複数の場合は、その代表者を明記してください。
- ・陳情者の住所、氏名は一般に公開されます。
- ・陳情者は、1件ごとにその趣旨を簡明に記載してください。必要によっては地図や写真等を添付してください。

〈提出について〉

- ・陳情書は、議会事務局に提出してください。原則、受付日以降に開会される定例会で審議されます。
- ・定例会は、年4回（3月・6月・9月・12月）です。

ご不明な点は議会事務局へお問い合わせください。

☎ 0994-22-3045 (直通)

災害復旧費3億1,694万4千円などを可決

一般会計、特別会計の補正予算を原案のとおり可決しました。主なものは次の通りです。

● 一般会計（第7号）（第8号）

園芸産地再生産支援事業補助金
1,358万6千円（1,358万6千円）

寒波に伴う積雪や低温等により園芸作物の被害を受けた農業者に対する補助

麦・大豆生産技術向上事業補助金
1,537万5千円（1,537万5千円）

国産麦・大豆の営農技術と機械の導入補助

神川大滝公園整備事業
1,217万6千円（5,067万6千円）

落石防止工事の範囲拡大による増額

空き家対策事業
262万円（1,007万8千円）

町で借り上げた空き家を南大隅高校の寮として使用する予定の環境整備

親子留学事業
30万円（206万円）

親子山村留学の情報発信のため、移住支援サイト『SMOUT』への情報掲載ページ等作成

● 国民健康保険事業（第2号）

一般被保険者療養給付費
3,138万円（9億6,602万5千円）

一般被保険者に係る療養給付費

● 簡易水道事業（第2号）

漏水調査委託料
71万円（121万円）

災害復旧費（台風6号による被害等）
3億1,694万4千円（3億2,819万7千円）

主なものは次の通りです。

・農業用施設災害復旧工事	5,870万円
・林道災害復旧工事	7,027万円
・農地災害復旧工事	4,440万円

LPガス料金負担軽減支援事業補助金
1,104万円（1,104万円）

LPガスの利用料金高騰を踏まえ、令和5年12月から令和6年1月使用分の2か月間、1契約につき各月最大2千円の値引き助成を行うもの

田代小学校創立150周年記念事業
100万円（100万円）

ふるさと納税寄附者による希望から、田代小学校創立150周年記念実行委員会への運営補助

保育所等給食支援事業補助金
91万2千円（91万2千円）

物価高騰による子育て世帯の負担を軽減し、従来通りの量や栄養バランスの給食等を確保するための補助

● 介護保険事業（保険事業勘定）（第1号）

介護保険基金積立金
3,634万9千円（3,641万4千円）

元金の積立

● 農業集落排水事業（第2号）

修繕料（維持補修）
22万円（42万円）

麓地区浄化センター・中継ポンプの維持管理費

※（ ）内は、予算総額です。

議案に対する各議員の賛否状況

令和5年 第3回臨時会

議案番号	案件名	賛否の結果												
		久保	久本	厚ヶ瀬	浪瀬	染川	池田	川越	小吉	水口	中野	落司	笹原	
陳情第5号	ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2024年度政府予算に係る意見書採択の陳情	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第6号	義務教育費国庫負担制度負担率の引上げをはかるための、2024年度政府予算に係る意見書採択の陳情	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発委第4号	少人数学級・教職員定数の改善に係る意見書	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発委第5号	義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第36号	令和5年度錦江町一般会計補正予算（第6号）	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

令和5年 第3回定例会

議案番号	案件名	賛否の結果												
		久保	久本	厚ヶ瀬	浪瀬	染川	池田	川越	小吉	水口	中野	落司	笹原	
議案第37号	令和5年度錦江町一般会計補正予算（第7号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第38号	令和5年度錦江町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第39号	令和5年度錦江町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第40号	令和5年度錦江町介護保険事業（保険事業勘定）特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第41号	令和5年度錦江町介護保険事業（サービス事業勘定）特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第42号	令和5年度錦江町簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第43号	令和5年度錦江町農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第44号	鹿児島県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の名称の変更及び同組合理約の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第45号	消防用本部指揮車購入契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第46号	令和5年度錦江町一般会計補正予算（第8号）	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○
認定第1号	令和4年度錦江町一般会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○
認定第2号	令和4年度錦江町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○
認定第3号	令和4年度錦江町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○
認定第4号	令和4年度錦江町介護保険事業（保険事業勘定）特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○
認定第5号	令和4年度錦江町介護保険事業（サービス事業勘定）特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○
認定第6号	令和4年度錦江町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○
認定第7号	令和4年度錦江町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○

※賛否の表示は、○：賛成、×：反対、欠：欠席となっています。

※議長には、表決権がありません。

※各議案（案件名）の○○については、省略しています。

町政のここが聞きたい

二次元コードから各議員の一般質問の動画を閲覧できます。

いけだ ゆきのり
池田 行徳 議員 9ページ

- ◇自転車ロードレース
- ◇防災・減災



ひさもと あきら
久本 晃 議員 13ページ

- ◇健康促進



かわごえ ゆうこ
川越 裕子 議員 10ページ

- ◇全国学力テスト
- ◇小学校統合



あつがせ ひろふみ
厚ヶ瀬 博文 議員 14ページ

- ◇町人会
- ◇サツマイモ耕作



なみせ りょうすけ
浪瀬 亮祐 議員 11ページ

- ◇荒茶加工施設
- ◇小中一貫校



おとし みちこ
落司 道子 議員 15ページ

- ◇自治会の在り方



くぼ ゆうた
久保 勇太 議員 12ページ

- ◇山村振興
- ◇地域活性化
- ◇病院再整備





池田 行徳 議員



自転車ロードレース

自転車ロードレースの安全対策や準備は万全であるか

教育長

安全マットや安全柵、防護フェンスを増やし安全対策を強化する

Q 10月に開催する国体の自転車ロードレースにおけるコースの安全対策や沿道の景観などの準備は万全であるか。

A 教育長 コース整備の委託会社と打ち合わせを重ね、安全マットや安全柵、防護フェンスを増やすなど、安全対策を強化させた。また、インカレ大会時の緊急体制を見直すために、救護マニュアルの作成並びに講習会等を開催した。

沿道に花を約540プランター装花し、町内の小中学生が作成した各都道府県の応援のぼり旗を会場に設置する予定である。

Q 旧大原中跡は、現在どのような活用方法を考えているか。活用方法の一つとして、サイクリングチームの合宿場所とする考えはないか。

A 教育長 旧大原中跡地は、町内の農家の方から校庭と校舎の一部を農地と農業用施設として利用できないか相談を受けており、今後、産業振興課と協議していきたい。

南隅地区は、環境面などから自転車ロードレースの聖地になりうると思うが、合宿誘致となると、道路等のインフラの整備のハード面、地元同意、受入状態などソフト面の整備が重要課題となる。跡地活用については、まちづくり懇談会等を通して地域の方々と引き続き協議していく。

Q 本町開催のロードレースを機に錦江町をサイクリングの町として整備、売りに出す考えはないか。

A 町長 道の駅でのおもてなしや観光地の景観づくりなど、本町としての役割を担ってまいりたい。

大隅広域観光開発推進協議会等と協力し、サイクリング観光で大隅半島に誘客促進が図られるよう様々な機関へ提案していく。

Q 県が管轄する照葉樹ビジターセンターの公園施設をキャンプ場や子ども用自転車の遊び場、また、サイクリング基地として観光推進していく考えはないか。



自転車ロードレース
新田交差点

A 町長 施設周辺や本町の観光地周辺をサイクリングで楽しめるような取り組みを検討し、県と協議していく。

防災・減災

川原・鶴園・平石・半下石・吉崎の川の増水対策は

町長
県へ、河川内の寄り洲除去や支障木の撤去、しゅんせつ工事等を強く要望する

Q 大雨により、特に大原・新田・盤山・鶴園地区は甚大な被害を被り、旧大原中学校下や盤山公民館の近くの道路は土砂崩れで通行止めとなった。災害防止のため、側溝のつまりの解除や拡大、

農地造成の際は土手の傾斜に基準を設けるなど検討する考えはないか。

A 町長 樹木や土砂などの詰まりは、今後も技術職員に現場を確認させて迅速に対応し、日頃から災害防止を図るため側溝の清掃作業など管理を重要視する。

農地造成の際の法面の傾斜には、土地改良事業計画設計基準等を参考に決められているため独自の基準を設ける考えはない。

Q 川原・鶴園・平石・半下石・吉崎の川の増水に対する今後の対応は。また、下自治会の民家への流水及び付近の側溝の排水対策を再度、県に要望できないか。
A 町長 県へ河川内の寄り洲除去や支障木の撤去、しゅんせつ工事を強く要望した。

下自治会の民家への流水及び付近の側溝の排水対策については、建設課に現場を確認させ、再度、大隅地域振興局建設部に要望書を提出した。



盤山公民館近くの土砂崩れ

川越 裕子 議員



全国学カテスト

結果を踏まえ、
改善点や課題等を検討したか

教育長

4点の課題に取り組んでいく

Q 4月に実施された全国学カテストの本町の結果とそれに対する改善点、課題を検討したか。

A 教育長 小学6年生は、国語と算数共に全国をやや下回り、中学3年生は、国語と数学が全国を大きく上回る結果であった。中学校の英語の「話すこと」については、全国の正答率が非常に低かったが、本町は全国より正答率が高かった。特に中学校の課題は、平日の学校以外の家庭学習のあり方が重要と考える。

- 今後は、次の4点に取り組んでいく。
- ①今回出題された問題等をもう1回分析して、演習問題等や類似問題等を取り組むための補充指導計画を立てる
 - ②友達や先生方との交流を通じた対話的な学習の時間を設ける
 - ③授業の終わりに学習の振り返り活動の場を設定する
 - ④今回課題となった問題や領域について、指導計画を見直して指導計画の中に明記する
- また、電子黒板やタブレットなどの一

CT機器を積極的に活用しているほか、複数社の新聞を有効に活用する手立てを講じている。

Q 不登校生徒の学習支援はどうか。

A 教育長 持ち帰りのタブレット等の使用、担任や担任以外の先生方による家庭訪問、プリントなど個別指導を行っている。

Q フリースクールや校内フリースクールについてどう考えているか。

A 教育長 本年度もフリースクールに通っている生徒がおり、学校とも良く連携している。費用は無料で送迎も行ってもらえるが、フリースクールが不登校の生徒に対して一律に有効な指導法というわけではない。

校内フリースクールについては、国の補助はあるが、非常に高額の予算が想定され運営が継続的に難しいため、現在協議中である。

Q 町内の幼稚園、保育園、学校での英語教室の実施状況は。

A 教育長 幼稚園・保育園では、歌

や手遊びを通して英語に慣れ親しむ活動を、児童生徒については、イングリッシュ・デイキャンプの実施や発達段階に応じた活動を教育課程の中に位置づけながら取り組んでいる。

Q ふるさと納税を活用し、英会話に特化した公営塾の検討はできないか。

A 町長 英語検定を目標に小学5年生から中学3年生まで、少人数の英会話の授業を始めたところであり、今後、効率的な方法を検討していく。

小学校統合
統合について
町長の方針は

令和7年4月を目標に池田・宿利原・大根占小を再編成し、田代・大原小を再編成する

町長

Q 小学校統合に関してまちづくり懇談会での意見交換を踏まえ、町長の方針を伺いたい。

A 町長 児童数の減少から統合はやむを得ず、児童の心身の成長や学習面

から、ある程度の人数での教育を望む意見が多かった。また、町内全体で1校とするのは時期尚早との意見が多く、大根占地区と田代地区それぞれの統合については理解するという意見もあった。

統合で小学校がなくなる地域については、より公民館活動や地域活性化対策、跡地活用などを検討してほしいという意見も寄せられた。

地区民・PTA各々の意見や思惑などを鑑み、児童教育の姿や地域における学校の機能等も考慮したが、10名前後の極小規模校の学習環境については、できるだけ早く調整したいと考える。

したがって、令和7年4月を目標に宿利原・池田・大根占小学校を再編統合。同じく大原・田代小学校を再編統合したい。

神川小学校については、小規模校の在り方も必要と考え、本年から開始した保育園留学、山村留学の受け皿として当分の間、存続させる。

国も2拠点居住を推奨するデュアルスクールを含めた多拠点居住に基づく就学環境の向上、地域の維持を訴えている。無策のまま統合を進める訳にはいけないので、保育園留学、山村留学の取組みに挑戦し、それでも学校が維持できないときは速やかに統合する。

一般質問



浪瀬 亮祐 議員



荒茶加工施設

錦江町荒茶加工施設を今後どのようにするか

町長

有償譲渡を軸に処分方法を検討中である

Q 錦江町荒茶加工施設は、令和5年4月1日から1年間、大根占茶生産組合へ指定管理をして、本年度約4,500万円かけて屋根改修工事を行うが、工事終了後は施設を再び指定管理するのか、または売却をするのか。

A 町長 荒茶加工施設は、大根占茶業振興会や茶業者から要望を受け平成10年3月に設置した。

設置後、大根占地区の茶園面積は3割増加し、荒茶生産量が約2倍になるなど、茶業振興に大きく寄与したと考える。

しかし、現在は取引価格の低迷から栽培面積、生産量、生産者数が減少し、荒茶加工場の利用者も指定管理を受託している大根占茶生産組合のみとなった。

このような状況から、同加工場は設立時の役割を終え、売却等処分を検討する時期と考える。

現在、屋根改修工事発注準備と

並行して、来年度以降の処分の可能性等を検討しているが、法律の規定による補助金返還が必要となり、有償譲渡を軸に処分方法を検討中である。

譲渡価格は、改修工事費や補助金返還等を考慮して総合的に判断するが、現在の価値の算出も必要になるため、改修後の不動産鑑定などが必要になり、将来にわたって荒茶加工業務を続けていくことが必要条件となることから、業務を継続する能力を有する事業者へ譲渡することになる。

Q 補助金適正化法に係る償還額はどのくらいか。また、屋根改修工事は約4,500万円かかるが、荒茶加工場の基金は約3,400万円である。約1,000万円の不足分は、どこから持ってくるのか。

A 産業振興課長 補助金適正化法に係る償還額は、残存価格や現在の不動産鑑定価格等に基づいて計

算することから、現時点で明らかではないが、残存価格から考えると2千万円以上の償還がある。また、屋根改修工事に係る不足の約1千万円については、一般財源の充当を予定している。

小中一貫校 小学校統合時に小中一貫校にする考えはないか

町長 今後も施設分離型の小中一貫教育を推進していく

Q 少子化の影響により、児童生徒が減少し、学校統合が進んでいる。また、全国では小中一貫校も増えてきている。本町においても縦の統合も必要と考えるが、学校統合と同時に小中一貫校にする考えはないか。

A 町長 小中一貫制度には、①同一の校舎内で一貫して小・中学校教育を行う施設一体型 ②隣接する小学校・中学校で一貫して教育を行う施設隣接型

③離れた場所にある小学校及び中学校で一貫して教育を行う施設分離型がある。現在、田代地区、大根占地区それぞれ施設分離型小中一貫教育が行われている。

例えば、中学校の先生が小学校の授業参観を通して指導内容や指導方法の交流を行い、授業改善や先生方の指導力向上の契機とし、9年間の教育カリキュラムで児童生徒を育てるといった先生方の共通理解が図られている。

施設分離型ではあるが、小中一貫教育を実施しているので、例えば、運動会などの学校行事を小・中で1つに行うことが可能と考える。

田代小学校と大原小学校は、宿泊学習や修学旅行を合同で実施し、子どもたちの交流も行っている。また、大根占地区でも池田小学校、宿利原小学校、神川小学校でも宿泊学習や修学旅行を合同で行っている。

現在、開かれた学校づくりの取り組みとして田代中学校及び錦江中学校では、学区内の各小学校との連携の充実を図っており、今後も施設分離型の小中一貫教育を推進してまいりたい。

久保 勇太 議員



町長

山村振興

災害に強い大規模圃場整備を山村振興計画に盛り込むことは考えられないか

整備に取組む意向の地域があれば、計画へ盛り込む等の支援を行いたい

Q 田代地区における台風の被災状況並びに山村振興計画の策定状況はどうなっているか。

A 町長 主な被害で町道19路線32か所、林道6路線、農道16路線、農地の法面崩壊や土砂流入が約50か所などとなっている。山村振興計画は平成18年以来策定していたが、本年6月に策定した。

Q 田代地区の被災地域における用水路等の設計や設備が古く、担い手が減少する中、実情に応じた農地の再編が求められる。また、若手経営者からは、田代地域が今後も子育てができ、住み続けられる地域であってほしいという切実な声があり、教育や交通支援の充実を求めている。今後、災害に強い合理化された交通インフラ、大規模圃場整備等するよう、山村振興計画に盛り込むことは考えられないか。

A 町長 農業経営基盤促進法等の改正が本年4月に行われ、人・農地プランが法定化されたことから、将来の農地利用の姿を明確化する地域計画を令和7年

3月までに策定・公表することが義務付けられた。この機会を活用して、整備に取組む意向の地域があれば、計画へ盛り込む等の支援を行いたい。



災害に強い農地再編が求められる

地域活性化

中山間地域の活性化に向けて農村RMOに取組む考えはないか

町長

地域の総意として農村RMOを目指す地域があれば、各機関と連携し伴走支援していく

Q 本町は平成17年の合併当時では人口が約1万人を数えたものの、本年8月時点では人口は6,471人となっている。この現状をどのように捉えているか。

A 町長 人口が急減すると経済維持向

上が困難になり、地域コミュニティの維持も困難になることから、各種対策事業を行っている。

Q 人口急減地域である中山間地域に対して、どのような振興策を講じていく考えか。

A 町長 下駄ばきヘルパー制度やあいのりタフシー実証事業、各種農水省の事業を通じて支援してまいりたい。

Q 本町として中山間地域の維持発展に向けた活動を包括的に支援する農水省の農村RMO形成事業に取り組む考えはないか。

A 町長 地域の総意として農村RMOを目指す地域があれば、各機関と連携し伴走支援して行く。

病院再整備

事業計画は様々なシナリオ分析を行って策定されたのか

町長

段階的な縮小や医療から介護へ転換することを想定して試算を行っている

Q 先行事例がない中で、どのようにして病院経営の健全性を担保していく考えか。また、町の負担額約4千万円の財源は何か。

A 町長 肝属郡医師会立病院運営委員会(仮)を開催することで評価していく。また、財源は基金を取り崩して対応していく。

Q 町内外の医療・介護関係の複数の経営者や関係者から、もっとシビアな検討が必要との意見をいただいている。10年後、30年後の来院患者並びに入院患者の年齢構成の推移を示されたい。

A 町長 令和4年度の実績では外来患者50代、90代で約89%、入院患者は50代、90代で約98%を占めている。将来推移は考慮していない。

Q 最大の懸念点は、新設される当病院を今の20代、40代が今後継続的に利用し続けるのかという点にある。当事業における事業計画は今後起こりうる様々なシナリオにおいて感度分析を行い、その最適解に基づいて計画されたものであるという認識で問題ないか。根拠と併せて示されたい。

A 町長 年々患者数は減少するものとし、それに伴い病院の体制も段階的な縮小や医療から介護へ転換することを想定して試算を行っている。収益減に対しては、病床の縮小等による費用減少で対応する。



久本 晃 議員



健康促進

健康寿命を延ばすために運動習慣のない人が運動を始めやすい環境が必要

町長

家庭でも簡単に取り組める運動の指導や相談も受け付けている健康運動教室の充実なども図っていく

健康寿命※1を延ばす取組みとして運動がある。普段運動をしていない人たちが運動を始める動機づけや始めやすい環境が必要だと感じる。ウォーキングコースの改善や街灯整備等を行い、安全にウォーキングやランニングができる環境づくりに取り組む考えはあるか。

※1健康寿命：健康上の理由で日常生活が制限なく過ごせる期間

A 町長 大根占地区にはウォーキングモデル1万歩コースの案内板やコース誘導板を整備してあるが同様のコースは田代地区にはない。街灯が整備されていない箇所もあり、防犯上の観点から昼間の利用を案内板に記載してある。新たなコース設定の考えはない。なお、運動習慣のない方々が比較的に取組みやすい運動を始めるためのきっかけづくりとして、健康保険課及び介護福祉課が健康運動教室を実施している。引き続き健康運動教室の充実等を図っていく。

久本議員 ウォーキングコース以外にもトレーニングルーム・サンドーム・武道館等、スポーツや運動に活用できる施設等の認知度が低いと感じる。町民のスポーツや運動の活用利用のため、町報等で宣伝・告知に尽力してほしい。

Q 現在、行われている生涯学習に運動分野の教室がある。興味があっても様々な理由で参加できない方もいるように感じる。生涯学習とは別に町内にある運動やスポーツの指導ができる方、指導トレーニングを受けたい方向けに情報の収集・告知等を行う考えはないか。

A 教育長 自主活動の輪の拡大を目的として町民が望む講座を開設できるように取り組んでいる。この他に運動に親しむ機会としてスポーツフェスタを始めた。今年で2回目になる、フレンドリースポーツ大会ではモルックを開催した。24チーム、約100名の方に参加いただいた。また、町内には

様々なスポーツ活動に取り組んでいる団体がある。その方々に理解いただき、町報・ホームページ等で紹介することは可能である。活動団体・スポーツ協会各専門部の活動を紹介することできっかけづくりとして情報提供していく。

Q 運動・スポーツ等で利用している施設の管理や運営に対し、要望・相談等はないか。

A 教育長 教育委員会で管理・運営している施設は体育施設20、小中学校体育館施設16、計36ある。相談・要望として運動公園・川原グラウンド整備、サンドーム雨どい工事、田代武道館利用の申し出等の要望があった。施設利用の申請をスマートフォンで行うなど申請時の簡素化や利便性向上のため、今後も検討を進めていきたい。

久本議員 伝達ミスや対応の不備を減らす為にも申請時の簡略化や改善に努めてほしい。

Q 健康保険課で行っているコンディショニング教室の利用率や運営状況はどうか。

A 町長 毎月第1・第2(火)の午後6時30分～8時まで1日3名限定で中学生から65歳までを対象に運動指導士による簡単なマッサージやその方の身体の状態に合わせたストレッチ、トレーニング指導を予約制で行っている。

令和2年度までは月4回開催していたが、令和3年度から介護福祉課が所管する地域サロンでもフレイル※2予防等を目的としたコンディショニング指導を実施したことから一般向けは月2回に変更となった。令和5年度の8月までの利用率は96.43%である。

※2フレイル：病気ではないが加齢で筋力や心身の活力が低下し、介護が必要になりやすい、健康と要介護の中間の脆弱な状態

Q トレーニングルームの利用状況はどうか。

A 町長 令和4年度の利用状況は、402人、取扱い講習や介護予防教室等で344人の利用があった。

久本議員 運動やスポーツに関心をもち、きっかけにあふれる、健康寿命が高い町と言われる町づくり・環境づくりに取り組んでほしい。

厚ケ瀬 博文 議員



町長

町人会

今後の町人会との交流はどうなっていくのか

本町出身者等の皆様との大切な架け橋として今後もなお一層の交流促進を図ってまいります

Q コロナ禍が一段落したともいえる中で、今後の町人会との交流はどうなっていくのか。

A 町長 コロナウイルス感染拡大以降、4年ぶりに錦江町関東大根占・田代会総会が今年6月に開催されたが、関西大根占会、近畿田代会は、開催されていない。本町出身者等の皆様との大切な架け橋として今後もなお一層の交流促進を図っていく。

Q 町人会を盛り上げるよう、町内の参加者を募るために広報紙などを通じて、紹介するコーナーを大々的に作成する考えはないか。

A 町長 広報紙だけでなく、町のホームページやSNSなど様々なかたちで協力していく。

Q 関西の町人会での販売品は、大根占の海産物が主だが、田代産の品目も増やす考えはないか。

A 町長 販売品目を増やすこと



第13回錦江町関東大根占田代会総会 (令和5年6月4日 開催)

は、特産品のPRにもなる。町人会の皆様と協議していく。

Q 交流人口促進のために、錦江町を会場とした町人会との交流はできないか。

A 町長 毎年町内で行われる還暦同窓会など、町内出身者が一堂に会する場に町の関係者が参加し、交流することは町人会の加入促進を図る上からも有意義である。主催者から相談を受けた場合は商工会とも連携しながら参画したい。

サツマイモ 耕作

現在のサツマイモの生育状況は

平年並みの収穫量が確保できている

町長

Q 台風6号や長雨に見舞われたが、現在のサツマイモの生育状況は。

A 町長 生育不良を心配したが、現在、収穫が進んでいる早植えのサツマイモについては、平年並みの収穫量が確保できている。

Q 国、県、町からの苗床や圃場などへの支援策の効果はあらわれているか。

また、今後も新たな支援策を考えているのか。

A 町長 国や県と連携した対応策や実証圃を設置してその有効性を検討し、生産者の防疫努力の成果が出てきている。

Q 圃場の排水対策として、暗渠を埋蔵する方法が有効と考えられるが、支援策などを考えているか。

A 町長 今ある補助事業等も活用し、よりよい圃場整備、圃場対策を行っていく。

Q 町の堆肥、きんこうまもるくんを中心に共同研究中の堆肥の試供や研究費の一部を助成する考えは。

A 町長 実証圃場に試験生産堆肥を投入し、収量など従来型の栽培との比較を行う予定。町としてはこれまでも錦江町さつまも振興会に対し、研修などを含む運営補助資金を支援している。

厚ケ瀬議員 今後も引き続き、サツマイモ農家との情報交換などを行い、基腐病の対応に努めていきたい。



落司 道子 議員



自治会の
在り方

自治会への未加入世帯に対し、加入促進の取組みも含め、
どのような対応をしているのか

町長 本年度、自治会長連絡協議会理事会で協議を行い、自治会の活動内容をまとめたパンフレットを町と共同で作成し、対象者に配布するようについて

Q 自治会運営が難しくなる中で、これまで自治会からどのような相談等があったか。

A 町長 令和5年度は12自治会から、空き家や公民館の改修に関するもの、防犯灯等の設置などがあった。そのうち、町道の路面補修や街路樹の伐採等が、全体の75%を占めている。

Q 自治会への加入世帯が減少していく中で、未加入世帯もみられる。現在の状況は。

A 町長 令和5年8月現在の自治会加入状況は、全世帯加入している自治会が9自治会、9割加入が15自治会、8割加入が35自治会と、全体の67%が自治会加入者である。未加入世帯は町全体の3,220世帯中509世帯、15.8%となっている。

Q 未加入世帯に対し、加入促進の取組みも含め、どのような対応をしているのか。

A 町長 自治会への加入案内は、転入・転居手続きをされる方へは、住民窓口で新しい自治会長の連絡先を記した書面を渡し、必ず連絡するよう依頼している。

しかし、現状としては加入されない方もいるため、本年度、自治会長連絡協議会理事会で協議を行い、自治会の活動内容をまとめたパンフレットを町と共同で作成し、対象者に配布するようについていく。

Q 地域の方がより関わりやすくなるように、自治会の運営等を見直すことを働きかけるのも必要と考えるが。

A 町長 自治会長連協の理事会の皆さまと、自治会運営としてお互いに良い関係が保てるよう、継続して協議していく。

Q 地域担当者制度の現状は。今後のあり方について、どのように考えているのか。

A 町長 職員を配置した当初は、地域生活に関する相談等が多くよせられたが、配置要請もなくなってきたことから、現在では、地区公民館、自治会とも地域担当職員の配置は行っていない。

また、地区公民館への地域担当職員の配置については、第3次行政改革実施計画で廃止が打ち出され、令和2年度をもって廃止した。なお、自治会から配置要請があれば、配置について検討していく。

Q 現在、配置要請がなくても、自治会長への周知は必要ではないか。

A 町長 職員を配置することよりも、まずは、地域活動の中での困りごとを自治会長と連携しながら解決していくことが、私どもの努めと思っている。

Q 集落支援制度の活用について、どのように考えているのか。

A 町長 本町において、当該役割の一部は、自治会長が担っていると考えるが、地域のサポーターとして集落支援員を活用する自治体も増えている。今後、支援員の設置や自治会のあり方等について調査研究は進めていく。



自治会で管理されているゴミステーション

12月定例会は
田代支所
で開催

傍聴してみませんか

12月定例会の会期は、12月5日から15日、
一般質問は6日～7日の予定です。
田代支所3階の議場へ傍聴においでください。
また、インターネット映像配信サービス
YouTubeにて本会議の様を生中継
いたしますので、是非ご活用ください。

錦江町議会
YouTube
チャンネルは
こちらから



表紙をウオッチ

燃ゆる感動かごしま国体開催!!

「燃ゆる感動かごしま国体」が昭和47年の「太陽国体」以来、51年ぶりに鹿児島で開催され、本町では10月15日に自転車（ロードレース）が開催されました。

選手の皆様をプランターに美しく咲き誇る、色とりどりの鮮やかな花がお迎えし、白熱したレース展開に沿道から熱い声援が送られました。



議会報編集委員会も新体制となりました。
今後ともよろしく願いいたします。



編集後記

久保 勇太 副委員長

秋も一段と深まり、日増しに紅葉が色づく季節と
なってきましたが、皆様いかがお過ごしで
しょうか。

秋といえば、スポーツの秋、食欲の秋、行楽の秋
といわれるように、過ごしやすくイベント盛りだく
さんの季節ですが、今年は「燃ゆる感動かごしま国体」
が51年ぶりに鹿児島で開催され、本町では10月
15日に自転車（ロードレース）が開催されました。
なお、本年6月11日にはデモンストレーションス
ポーツとして真向法体操が開催されました。

人生100年時代においては、生涯スポーツを通
じた健康づくりによって、健康寿命を延ばしてい
くことが大事になってまいります。これを機に、町民
の皆様もご自身にあったスポーツに取組まれてみて
はいかがでしょうか。

また、本町の有志の方々によるまかないは、国体
でお越しになられた多くの皆様の食欲をそそり、本
町ならではのおもてなしにファンになってくださ
った方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

コロナ感染症が第5類相当に移行してから、本格
的な行楽シーズンとなってきましたが、当たり
前の日常が送れることは、こんなにも素晴らしいこ
となのですね。

基本的な感染予防策を行いつつ、皆様が笑顔多
き日々を過ごされますことをご祈念申し上げます。

◆議会報編集委員会

委員長 久本 晃
副委員長 久保 勇太
委員 浪瀬 亮祐・池田 行徳・落司 道子